

# 田宮 強志 新潟県土木部長 プレゼン資料

## 平成16年7月新潟・福島豪雨(7.13水害)

新潟県

○概要  
平成16年7月12日の夜、日本海から新潟県に延びる梅雨前線の活動が活発化し、強い雨雲が中越地方に流れ込んだため、13日の夕方にかけて激しい雨が降り続き、栃尾市(現長岡市)で2.4時間雨量400mmを超えたほか、三条、長岡地域でも未曾有の降水量を観測した。

○一般被害

区分	人的被害(人)				家屋被害(棟)			
	死者	重傷	軽傷	全壊	半壊	一部壊壊	床上浸水	
新潟県計	15	7	80	89	3,657	82	1,882	6,197

○被害の特徴

- ・栃尾市では、**40%**を超える雨が**6時間**続いた。
- ・**栃尾市での1日の降水量は、7月の平均降水量の2ヵ月分**であった。
- ・**五十嵐川、刈谷田川など6河川11箇所**で破壊。

## 平成16年7月豪雨後に実施した対策

新潟県

## 平成16年7月豪雨後に実施した対策<五十嵐川>

新潟県

築堤 V=約22万m<sup>3</sup>  
護岸 A=約16万m<sup>2</sup>  
河道掘削 V=約34万m<sup>3</sup>  
排水機場・橋門 N=6基  
橋梁架替 N=3橋  
用地取得 A=約5.9ha  
事業費 325億円

標準断面図  
[上流部] 約17~19km  
[下流部] 約10~12km

事業実施効果  
平成16年7.13水害規模の洪水を安全に流下できる

## 平成16年7月豪雨後に実施した対策<刈谷田川>

新潟県

築堤 V=約42万m<sup>3</sup>  
護岸 A=約94万m<sup>2</sup>  
河道掘削 V=約160万m<sup>3</sup>  
遊水池 N=5箇所  
橋梁架替 N=4橋  
用地取得 A=約23.2ha  
事業費 380億円

堤防岸上 L=12.8km  
護岸 A=約16万m<sup>2</sup>  
河道掘削 V=約92万m<sup>3</sup>  
用地取得 A=約1.1ha  
事業費 91億円

## 平成16年7月豪雨後に実施した対策<信濃川>

新潟県

築堤 L=約57km  
V=約390万m<sup>3</sup>  
橋門 N=28基  
水門 N=1基  
高水護岸 L=約800m  
従水護岸 L=約5,100m  
道路付替 L=約20km  
用地取得 A=48.8ha  
被災交渉人数 570人  
事業費 386億円

左岸 右岸

## 平成23年7月新潟・福島豪雨

新潟県

■雨量の比較(笠置ダム地点)

	H16.7豪雨	H23.7豪雨
累加雨量	489mm	985mm
時間最大雨量	73mm	83mm

■被害状況(H24.7.25時点)

被害区分	H16.7豪雨	H23.7豪雨	
人的被害	死者	15人	4人
	行方不明者	—	1人
	重傷	2人	2人
住家被害	軽傷	80人	11人
	全壊	71棟	41棟
	半壊	5,657棟	805棟
	一部損壊	82棟	32棟
床上被害	床上浸水	1,882棟	1,004棟
	床上浸水	6,197棟	7,624棟
	非住家被害	公共施設	7,189棟
公共土木施設被害箇所	公共土木施設被害箇所	1,984箇所	2,693箇所
	公共土木施設被害額	約570億円	約490億円

■等雨量線図の比較(累加雨量)

